

2014年7月

今月のトピック

第4回衛研シンポジウム開催 7月25日「薬と化学物質のレギュラトリーサイエンス」をテーマとして開催され、熱心な参加者による討論が展開された。(詳しくは衛研ニュース27号参照)(企画調整主幹)

平成26年度一般公開実施 7月26日「医薬品や食品等の品質確保、安全性、有効性を求めて」を主題として、全20部が展示や展示説明を行った。(詳しくは衛研ニュース28号参照)(企画調整主幹)

当所職員、日本プロテオーム学会のベストポスター賞受賞 本年会(7月17, 18日;つくば)において、高倉大輔, 多田 稔, 川崎ナナは「アセトン濃縮とLC/MSによる糖ペプチドの選択的プロファイリングと膜グライコミクスへの応用」により、同賞第三位に選ばれた(生物薬品部)

当所職員、平成26年度日本法中毒学会吉村賞(学術奨励賞)を受賞 内山主任研究官は「違法ドラッグ成分の析及び同定に関する研究」により受賞し、平成26年7月5日に同年会にて、授賞式が行われた。(生薬部)

1. 誌上発表(原著論文)

- (薬品部) ○ Izutsu, K., Shibata, H., Yoshida, H., Goda, Y.
Miscibility as a Determining Factor for Component Crystallization in Multi-solute Frozen Solutions (凍結溶液中における溶質の混合性と結晶化への影響)
J. Pharm. Sci., **103**, 2139-2146 (2014)
- (生物薬品部) ○ Isaji, T.^{*1}, Im, S.^{*1}, Gu, W.^{*1}, Wang, Y.^{*1}, Hang, Q.^{*1}, Lu, J.^{*1}, Fukuda, T.^{*1}, Hashii, N., Takakura, D., Kawasaki, N., Miyoshi, H.^{*2}, Gu, J.^{*1}
^{*1}東北薬科大学, ^{*2}理化学研究所
An Oncogenic Protein Golgi Phosphoprotein 3 Up-regulates Cell Migration via Sialylation. (発がんタンパク質 Golgi phosphoprotein 3 はシアリル化を介して細胞遊走を亢進する)
J. Biol. Chem., **289**(30), 20694-20705 (2014)
- (食品添加物部) ○ Sato, K., Suzuki, I., Kubota, H., Furusho, N., Inoue, T.^{*}, Yasukouchi, Y.^{*}, Akiyama, H.
^{*}Japan Frozen Foods Inspection
Estimation of daily aluminum intake in Japan based on food consumption inspection results: impact of food additives (摂食量調査結果に基づく日本におけるアルミニウムの日摂取量推定: 食品添加物の影響)
Food Science & Nutrition **2**, 389-397 (2014)
- Tada, A., Ishizuki, K., Yamazaki, T.^{*}, Sugimoto, N., Akiyama, H.
^{*}Jissen Women's University
Method for the Determination of Natural Ester-Type Gum Bases Used as Food Additives via Direct Analysis of their Constituent Wax Esters Using High-Temperature GC/MS (高温 GC/MS を用いた天然由来食品添加物エステル系ガムベース中のワックスエステ

ルの直接定量)

Food Science & Nutrition, **2**, 417-425 (2014)

- Abe, Y., Yamaguchi, M., Mutsuga, M., Kawamura, Y., Akiyama, H.

Survey of volatile substances in kitchen utensils made from acrylonitrile-butadiene-styrene and acrylonitrile-styrene resin in Japan (日本における ABS および AS 樹脂製調理器具中の揮発性物質調査)

Food Science & Nutrition, **2**, 236-243 (2014)

- (医薬安全科学部) ○ Iwamoto S^{*1}, Yonekawa T^{*1}, Azuma E^{*1}, Fujisawa T^{*2}, Nagao M^{*2}, Shimada E^{*3}, Nakamura R, Teshima R, Ohishi K^{*4}, Toyoda H^{*1}, Komada Y^{*1}.

^{*1} 三重大学医学部小児科, ^{*2} 国立三重病院小児科, ^{*3} 日本赤十字社中央血液研究所, ^{*4} 三重大学病院輸血部

Anaphylactic transfusion reaction in homozygous haptoglobin deficiency detected by CD203c expression on basophils. (好塩基球の CD203c 発現によって検出したハプトグロビン欠損患者におけるアナフィラキシー性トランスフュージョン反応)

Pediatr Blood Cancer. **61**,1160-1(2014)

- (毒性部) ○ Jiegou Xu ^{*1, *2}, David B. Alexander ^{*1}, Mitsuru Futakuchi ^{*3}, Takamasa Numano ^{*3}, Katsumi Fukamachi ^{*3}, Masumi Suzui ^{*3}, Toyonori Omori ^{*4}, Jun Kanno, Akihiko Hirose, Hiroyuki Tsuda ^{*1}

^{*1} 名古屋市立大学津田特任教授研究室 (ナノ材料トキシコロジープロジェクト研究室) ^{*2} 安徽医科大学免疫学科 ^{*3} 名古屋市立大学大学院医学研究科分子毒性学分野 ^{*4} 環境省大気環境課大気生活環境室

Size- and shape-dependent pleural translocation, deposition, fibrogenesis, and mesothelial proliferation by multiwalled carbon nanotubes. (多層カーボンナノチューブの大きさと形状に依存した, 胸腔への移動, 沈着, 線維化誘導, 及び中皮細胞増生の誘導について.)

Cancer Sci. 2014 Jul;**105**(7):763-9

- Tanaka M^{*1}, Yamazaki Y^{*1}, Kanno Y^{*1}, Igarashi K, Aisaki K, Kanno J, Nakamura T^{*1}.

^{*1} 公益財団法人がん研究会がん研究所発がん研究部

Ewing's sarcoma precursors are highly enriched in embryonic osteochondrogenic progenitors. (ユーイング肉腫の発生起源細胞は, 胎児の軟骨前駆細胞に集積している.)

J Clin Invest. 2014 Jul 1;**124**(7):3061-74

- (薬理部) ○ 諫田泰成
“がん幹細胞を用いた創薬応用”がん幹細胞の受容体を標的とした創薬の可能性
日本薬理学雑誌, **144** (1) 17-21 (2014)

2. 誌上発表 (総説・解説等)

- (薬品部) ○ 宮田和正^{*1}, 石井邦明^{*2}, 伊豆津健一, 梅村雄太^{*3}, 大林靖明^{*4}, 北山正和^{*5}, 小見山和也^{*6}, 田中広徳^{*7}, 和田雅昭^{*8}
^{*1} 化血研, ^{*2} 大正製薬, ^{*3} 富山化学, ^{*4} 田辺三菱, ^{*5} アッヴィ, ^{*6} 日本たばこ産業, ^{*7} MSD, ^{*8} 塩野義製薬
開発過程における医薬品品質システムの展開 ③開発

- 段階における品質リスクマネジメント
PHARM TECH JAPAN, **30**, 903-909 (2014)
- 原島秀吉*1、秋田英万*1、加藤くみ子、石井武彦*2、松村保広*3、片岡一則*1
 *1 北海道大学、*2 国立がん研究センター東病院、*3 東京大学
 ナノテクノロジーを基盤とした医薬品のレギュラトリーサイエンス研究への取り組み
Drug Delivery System **29** (3) 217-225, 2014
 - (遺伝子細胞医薬部) ○ 村岡ひとみ、佐藤陽治
 再生医療・細胞治療の規制動向とレギュラトリーサイエンス
 日本 DDS 学会誌, **29**(3), 207-216 (2014)
 - (代謝生化学部) ○ 酒井信夫、中村里香、中村亮介、安達玲子、手島玲子
 [解説] 加水分解コムギの経皮感作によるアレルギー
 化学と生物, **52**, 431-437 (2014)
 - (医薬安全科学部) ○ 前川京子、佐井君江
 薬物相互作用に影響を及ぼす遺伝子多型とその人種差
ファルマシア, **50**(7), 669-673 (2014)
 - 佐井 君江
 国際的な医薬品規制情報交換のための「医薬品辞書のためのデータ項目及び基準」に関する国際規格
 (ISO-IDMP) について
医療情報学, **34** (2), 81-88 (2014)
3. 単行本
- (薬理部) ○ 小島 肇
 化粧品・医薬部外品 安全性評価試験法
 株式会社じほう, 東京 (2014) pp 1-138
 化粧品および医薬部外品の安全性評価試験法の留意点について、動物実験代替法の最新の動向も加えながら解説した。
4. 学会・講演等
- (薬品部) ○ 加藤くみ子、運 敬太、合田幸広
 カチオン性リポソーム構成成分の細胞内動態に関する研究
 第30回日本 DDS 学会学術集会、東京都港区、2014年7月
 - Izutsu, K., Shibata, H., Yoshida, H., Goda, Y.
Amorphous/amorphous phase separation of solutes in frozen solutions: implication for pharmaceutical lyophilization. (凍結溶液による溶質の非晶質相への分離と医薬品の凍結乾燥に対する影響)
 Amorph 2014 Conference, (2014.7) Cambridge, UK
 - 伊豆津 健一
 ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について
 ジェネリック医薬品学会 第8回学術大会
 (2014.7) 愛知県名古屋市
 - (生物薬品部) ○ 川崎ナナ
 バイオ後続品の現状と課題
 日本ジェネリック医薬品学会第8回学術大会 (2014.7)
 (愛知県名古屋市)

- 高倉大輔*, 多田稔, 川崎ナナ
*次世代バイオ医薬品製造技術研究組合
アセトン濃縮と LC/MS による糖ペプチドの選択的プロファイリングと膜グライコミクスへの応用 (Selective glycopeptide profiling by acetone enrichment and LC/MS, and their application to membrane glycomics)
日本プロテオーム学会 2014 年会 (JHUPO 第 12 回大会)(2014.7)(茨城県つくば市)
- Li X.^{*1}, Kimura Y.^{*1}, Iida M.^{*1}, Kuniyasu H.^{*2}, Fukasawa M.^{*3}, Tada M., Ishii A., Watari A.^{*1}, Yagi K.^{*1}, Kondoh M.^{*1}
*¹大阪大学*²奈良県立医科大学*³国立感染症研究所
Anti-tumor activity of a novel monoclonal antibody recognizing claudin-3 and -4 (claudin-3,-4 を認識する新規モノクローナル抗体の抗腫瘍活性)
23rd Biennial Congress of the European Association for Cancer Research (EACR23) (2014,7) (Munich,Germany)
- 川崎ナナ
バイオ医薬品の開発・製造と質量分析
日本質量分析学会第 11 回北海道談話会講演会
北海道大学 (2014.7)(北海道札幌市)
- (生薬部) ○ 内山奈穂子
違法ドラッグ成分の分析及び同定に関する研究
日本法中毒学会第 33 年会 (愛知県名古屋市 2014.7)
- 内山奈穂子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志
簡易薬物スクリーニングキットを用いた合成カンナビノイドの識別法の検討
第 36 回日本中毒学会総会・学術集会 (東京都板橋区 2014.7)
- (遺伝子細胞医薬部) ○ 井上貴雄
核酸医薬品の規制
日本毒性学会学術年会 (2014. 7) (兵庫県神戸市)
- (医療機器部) ○ 中岡竜介、齋島由二、新見伸吾
橋渡し研究及び国際標準化の行政的支援
第 53 回日本生体医工学会大会、2014.6、宮城県仙台市
- (生活衛生化学部) ○ 香川(田中)聡子, 大河原晋*, 田原麻衣子, 川原陽子, 真弓加織, 五十嵐良明, 神野透人
*九州保福大薬
家庭用品中の香料成分によるヒト侵害受容器 TRPA1 の活性化
第 41 回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 秋山卓美, 清水久美子, 藤巻日出夫, 内野正, 最上 (西巻) 知子, 五十嵐良明
ロドデノールの代謝とメラノサイトに対する細胞毒性
第 41 回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 小林憲弘, 田中亮太*, 竹原広*, 納屋聖人*, 久保田領志, 五十嵐良明, 広瀬明彦
*公益財団法人 農医薬品安全性評価センター
マウス反復気管内投与による多層カーボンナノチューブの催奇形性の評価
第 41 回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 五十嵐良明, 小濱とも子, 清水久美子, 河上強志, 秋山卓美, 藤井まき子*
*昭和薬科大学

- コチニール色素及びカルミンの感作性評価のための各種試験法の適用性について
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- Jinno, H., Tanaka-Kagawa, T., Okamoto, Y., Tahara, M., Ikarashi Y.
Japanese national survey of volatile organic compounds in residential air for the revision of the indoor air quality guidelines (室内濃度指針値の改訂に向けた室内空气中揮発性有機化合物の全国調査)
Indoor Air 2014 The 13th International Conference on Indoor Air Quality and Climate (2014.7) (Hong Kong, China)
- Tanaka-Kagawa, T., Ohkawara, S. *, Tahara, M., Kawahara, Y., Mayumi, K., Ikarashi Y., Jinno H.
* Kyushu University of Health and Welfare
Activation of nociceptive transient receptor potential channels by antimicrobial agents/ Isothiazolines in consumer products (消費者製品中のイソチアゾリン系抗菌剤による侵害受容 TRP チャンネルの活性化)
Indoor Air 2014 The 13th International Conference on Indoor Air Quality and Climate (2014.7) (Hong Kong, China)
- Tahara, M., Tanaka-Kagawa, T., Okamoto, Y., Mayumi, K., Kawahara, Y., Ikarashi, Y., Jinno, H.
Random Sampling Survey of Indoor Air Total Volatile Organic Compounds in Kanto Region, Japan (無作為抽出による関東地方の室内空气中総揮発性有機化合物の実態調査)
Indoor Air 2014 The 13th International Conference on Indoor Air Quality and Climate (2014.7) (Hong Kong, China)
- (食品部) ○ 鍋師裕美、堤 智昭、蜂須賀暁子、松田りえ子、手島玲子
野生動物の肉および骨中の放射性セシウム及び放射性ストロンチウムの分析
第51回アイソトープ・放射線研究発表会、平成26年7月7日、東京都文京区
- NABESHI H., TSUTSUMI T., HACHISUKA A., MATSUDA R., TESHIMA R.
Concentrations of Radioactive Cesium and Strontium in Wild Animal Meat and Bone (野生動物の肉と骨中の放射性セシウム及びストロンチウムの濃度について)
Health Physics Society 59th Annual Meeting, 14, July, 2014, Baltimore, MD, USA.
- (衛生微生物部) ○ 工藤由起子
なぜ日本の腸炎ビブリオ食中毒は減少したのか
第42回日本食品微生物学会学術セミナー
神奈川県・横浜市(2014.7)
- (有機化学部) ○ 出水庸介, 三澤隆史, 山崎徳和, 佐藤由紀子, 大庭誠*, 田中正一*, 栗原正明
*長崎大院医歯薬
細胞膜高透過性 Tat ペプチドミミックの開発
第30回日本DDS学会学術集会(2014.7)(東京都港区)
- 山下博子, 出水庸介, 三澤隆史, 大庭誠*, 田中正一*,

- 栗原正明
*長崎大院医歯薬
オリゴアルギニンをベースとした細胞膜透過性ヘリカルペプチドの開発
第30回日本DDS学会学術集会(2014.7)(東京都港区)
- (安全情報部) ○ 森田 健, 春日文子, 古田光子*
*厚生労働省医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室
有害性物質の毒物劇物への該当性評価
第36回日本中毒学会(2014.7)(東京都板橋区)
- (医薬安全科学部) ○ 中村亮介
培養細胞を用いるアレルギー試験「EXiLE法」の開発と応用
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- (毒性部) ○ 北嶋 聡, 種村 健太郎^{*1}, 菅野 純
^{*1} 東北大学大学院農学研究科・動物生殖科学分野
毒性の網羅的把握のための遺伝子発現ネットワーク描出と動的バイオマーカー抽出
第41回日本毒性学会学術年会, 2014年7月, 兵庫県神戸市
- 菅野 純, 相崎 健一, 北嶋 聡
Percellome Projectの進捗—新型反復暴露による慢性毒性の予測に向けての分子背景の解析—
第41回日本毒性学会学術年会, 2014年7月, 兵庫県神戸市
- 菅野 純, 高橋 祐次, 高木 篤也, 広瀬 明彦, 今井田 克己^{*1}, 津田 洋幸^{*2}
^{*1} 香川大学医学研究院 腫瘍病理学 ^{*2} 名古屋市立大学津田特任教授研究室
ナノマテリアルの吸入毒性評価の迅速化と効率化に向けて
第41回日本毒性学会学術年会, 2014年7月, 兵庫県神戸市
- 相崎 健一, 北嶋 聡, 菅野 純
遺伝子発現から見た毒性学—Percellome トキシコゲノミクスの進捗—
第36回日本中毒学会総会・学術集会, 2014年7月, 東京都板橋区
- 高橋祐次, 小川幸男, 高木篤也, 辻 昌貴, 森田 紘一, 岸 宗佑*, 今井田 克己*, 菅野 純
*香川大学 医学研究院 病理病態学・生体防御医学講座 腫瘍病理学
多層カーボンナノチューブのp53^{+/-}マウス全身暴露吸入による肺及び胸膜病変
第41回 日本毒性学会学術年会 2014.7.4(兵庫県神戸市)
- 北嶋 聡, 小川幸男, 大西 誠*, 相磯成敏*, 相崎健一, 五十嵐勝秀, 高橋祐次, 菅野 純
*中央労働災害防止協会・日本バイオアッセイ研究センター
シックハウス症候群レベルの極低濃度吸入暴露時の海馬 Percellome トキシコゲノミクス-化学構造が異なる3物質の比較-

- 第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
平林容子, 壺井功^{*1}, 五十嵐勝秀, 菅野純, 楠洋一郎^{*2},
井上 達^{*1}
^{*1} Kangwon National Univ., ^{*2} Nihon Univ., ^{*3} State Univ.,
of Michigan
放射線障害の未分化造血幹・前駆細胞に局限した遷延
性変化とその加齢影響：遺伝子発現プロファイル
第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7.3)(兵庫県神戸
市)
- 平林容子
シンポジウム： 老化と酸化ストレス、そして、再生
へ “体性・組織幹細胞と再生”放射線障害の造血に対
する遷延性効果とその加齢影響：遺伝子発現プロファ
イルに見られる特徴
第29回老化促進モデルマウス(SAM)研究協議会
(2014.7.6)(東京都板橋区)
- (薬理部) ○ 諫田泰成
ヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いた安全性評価法の現
状と将来の展望
第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 黒川洵子^{*}, 古川哲史^{*}, 関野裕子, 諫田泰成
^{*}東京医科歯科大学
ヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いた新規心毒性評価系
第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 山田 茂, 麻薙美紀, 古武 弥一郎^{*}, 関野裕子, 諫田
泰成
^{*}広島大学
ヒト胎児性癌細胞の細胞周期に対するトリブチルスズ
の影響
第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 李 敏^{*}, 林 英里奈^{*}, 諫田泰成, 関野裕子, 古川哲史^{*},
黒川洵子^{*}
^{*}東京医科歯科大学
ペーシング可能なヒト iPS 細胞由来心筋標本の開発
第130回日本薬理学会関東部会(2014.7)(東京都品川区)
- 麻薙美紀^{*}, 山田 茂, 板垣 宏^{*}, 関野裕子, 諫田泰成
^{*}横浜国立大学
有機スズ化合物による NT2/D1 細胞の G2/M 期停止メ
カニズムの解析
第130回日本薬理学会関東部会(2014.7)(東京都品川区)
- 石田誠一, 金 秀良, 久保 崇, 黒田幸恵, 北條麻紀,
宮島敦子, 松下 琢^{*}, 関野祐子
^{*}崇城大学
ヒト胎児および成人肝細胞のメタボローム解析による
基礎代謝能の比較と化学物質による毒性発現の比較解
析
第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7)(兵庫県神戸市)
- 小島 肇
シンポジウム“*In vitro* 毒性試験としての iPS 細胞利用
の有用性と留意点”序論
第41回日本毒性学会学術年会 (2014.7) (兵庫県神戸
市)
- 岩瀬 裕美子^{*1}, 細井一弘^{*2}, 尾上誠良^{*3}, 若栗 忍^{*4},
山本敏誠^{*1}, 川上 哲^{*5}, 松本康浩^{*6}, 戸田嗣人^{*7}, 大崎

尚人^{*8}, 高木広憲^{*8}, 中村和市^{*4}, 小島 肇^{*1} 田辺三菱製薬(株), ^{*2} 参天製薬(株), ^{*3} 静岡県立大学,
^{*4}(一財)食品薬品安全センター, ^{*5} 旭化成ファーマ(株),
^{*6} あすか製薬(株), ^{*7} 塩野義製薬(株), ^{*8} 大正製薬(株)

Reactive Oxygen Species (ROS) アッセイ他施設バリデーション：総括と推奨プロトコール

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 伊藤浩太^{*1}, 榊原隆史^{*1}, 六川潤美^{*1}, 古川正敏^{*1}, 佐々木 啓^{*1}, 平賀武夫^{*2}, 小島 肇, 松浦正男^{*1}

^{*1}(株)化合物安全性研究所, ^{*2} 酪農学園大学
牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法 (BCOP法) による化粧品・医薬部外品の眼刺激性の検討

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 山口宏之^{*1,2}, 小島 肇, 竹澤俊明^{*1}

^{*1} 農業生物資源研究所, ^{*2} 関東化学株式会社

Vitlge-EIT 法：経上皮電気抵抗値を指標とした高感度な *in vitro* 眼刺激性試験法

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- (病理部) ○ 小川久美子

医薬品・化学物質開発において毒性病理学が果たす役割 - 毒性病理学的評価の果たす役割とその事例について

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 小川久美子

医薬品のがん原性評価に対する新たなアプローチ - 前がん病変と発がん

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 梅村隆志

食品中の化学物質による肝肥大の発現機序と毒性学的意義：現状・課題・展望 - はじめに

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 吉田 緑、梅村隆志、頭金正博^{*1}、小澤正吾^{*2}

^{*1} 名古屋市立大学大学院薬学研究科 ^{*2} 岩手医科大学薬学部

食品中の化学物質による肝肥大の発現機序と毒性学的意義：現状・課題・展望 - 化学物質の Hazard characterization において肝肥大を毒性ととるべきスタート地点

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 井上 薫

食品中の化学物質による肝肥大の発現機序と毒性学的意義：現状・課題・展望 - 肝肥大の毒性学的意義：CAR欠損マウスを用いた研究から考察する

第41回日本毒性学会学術年会(2014.7) (兵庫県神戸市)

- 吉田 緑

リプロダクティブヘルスからみた遅発影響—生殖発生

- 毒性試験から捉えられない指標—はじめに
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- 高橋美和
リプロダクティブヘルスからみた遅発影響—生殖発生毒性試験から捉えられない指標—遅発性影響のメカニズムに迫る—神経内分泌側面から—
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- 高須伸二
安全性研究における国立医薬品食品衛生研究所の役割
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(神戸)
- 市村亮平、高橋美和、森川朋美、Pramod DHAKAL、井上 薫、前田 潤、吉田 緑、渡辺 元*
*東京農工大学農学部獣医学科
Ethinyl estradiol 臨界期曝露による遅発影響に先行する視床下部キスペプチンニューロンの異常
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- 高須伸二、石井雄二、木島綾希、横尾 諭、能美健彦、西川秋佳、小川久美子、梅村隆志
ヘテロサイクリックアミンが誘発する *gpt delta* ラット肝臓の *in vivo* 変異原性に対する高脂肪食摂取の影響
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- 豊田武士、曹 永晩、赤木純一、水田保子、鈴木 勇、平田 直、小川久美子
ラット膀胱上皮細胞における γ H2AX 発現の検討
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- 長谷川也須子*、久保田久代*、吉田 緑、宮川宗之*
*独立行政法人労働安全衛生総合研究所
気管内投与における分散媒の肺への影響
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7)(兵庫県神戸市)
- (変異遺伝部) ○ Honma M, Yasui M, Kanemaru Y, Kamoshita N, Suzuki T, Arakawa T*
*Health Science University of Hokkaido
Demonstration of non-threshold of 8-oxoG inducing gene mutation by targeted mutagenesis (標的突然変異を導入することによる、遺伝子突然変異を誘発する 8-オキソグアニンに閾値がないことの証明)
43rd European Environmental Mutagen Society annual meeting, 2014. 7, Lancaster, UK
- Yamada M, Matsui K, Nohmi T
A new Ames tester strain for specific detection of the genotoxicity of polycyclic aromatic hydrocarbons (多環芳香族炭化水素の遺伝毒性を特異的に検出する新規エームス試験菌株)
43rd European Environmental Mutagen Society annual meeting, 2014. 7, Lancaster, UK
- (総合評価室) ○ 小野 敦
トキシコゲノミクスによる肝毒性バイオマーカー
第41回日本毒性学会学術年会(2014.7 兵庫県神戸市)

- 山田 隆志¹, 長谷川 隆一¹, 三浦 稔¹, 櫻谷 祐企¹, 山添 康², 小野 敦, 広瀬 明彦, 林 真³
1 製品評価技術基盤機構 2 食品安全委員会 3 公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター
有害性評価支援システム統合プラットフォーム (HESS) – 精巢毒性に係わるアルコキシ酢酸を生成する化学物質のスクリーニング
第 41 回 日本毒性学会学術年会 (2014.7 兵庫県神戸市)
 - 広瀬 明彦, 藤井 咲子¹, 鈴木 俊也², 加藤 日奈, 川村 智子, 松本 真理子, 高橋 美加, 平田 睦子, 西村 哲治³, 江馬 真⁴, 小野 敦
1 化合物安全性研究所 2 東京都健康安全研究センター 3 帝京平成大学 薬学部 4 産業技術総合研究所
パーフルオロアルキル (C14, C16) カルボン酸の反復投与および生殖・発生毒性
第 41 回 日本毒性学会学術年会 (2014.7 兵庫県神戸市)
5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告
報告事項なし
6. 新聞・テレビ等
(薬品部)
- 合田幸広
NHK, 7月19日, 7時15分頃
総合テレビ「おはよう日本」
「食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」が終了し, 健康食品について新たな機能性表示を行う道筋が示されたが, その際, 機能性表示を行う上で考慮すべき, 現在の健康食品の抱える問題点について述べた.
 - 渡辺麻衣子
長期居住ひずみ深刻 「復興」2014 プレハブ仮設はいま 下
朝日新聞, 7月20日, 日刊
石巻市仮設住宅でのカビ調査、カビの危険性について
 - 渡辺麻衣子
NHK総合, 7月11日, 21時00分
ニュースウォッチ9
「仮設住宅 入居長期化の影響は」仮設住宅でのカビの調査活動や集団検診、インタビュー取材に応じた。